



夢のようなラグビーW杯から3週間余りが経過しました。大学ラグビーが再開され、ニワカと言われたラグビーファンの方も多くがスタジアムに足を運んでいただいております。今回の卓話は新人卓話としてキリンビール三宅清三郎が務めます。宜しくお願いします。

表題でもある『世界一の九州・沖縄をつくろう』はキリンビールが取り組むCSV (Creating

ShaaredValue) = 社会と共有できる価値の創造の九州版と考えています。大衆消費財であるビール類は地元のビール大麦を使用し、地元の朝倉にある福岡工場にて丁寧に心を込めて製造されています。地域を盛り上げ、ブランドビジネスとして一番搾りを中心とした製品を一人でも多くのお客様の笑顔のためにお届けしていく。極めてシンプルな活動として社員一同約350名が一丸となり活動しています。本日はたくさんの活動をしておりますが2点に絞りお話をします。1点目は森先輩の大きな功績でもあり、新語流行語大賞に5つもエントリーされたラグビーW杯の裏話も含めて(笑)。多くの欧米系のお客様が来日され、大量のビールを飲みながらの観戦という新しいスタイルを日本に持ち込まれました。試合の2時間半前から乾杯、ファンゾーンでも乾杯、スタジアムでも乾杯、試合にも乾杯、試合後も両チームの健闘に乾杯、そして反省会でも乾杯。飲酒運転やアルコールにまつわる悲しい事件事故などが報道されアルコール=悪という風潮の中、嬉しい肯定的な報道が多くされました。若者のアルコール離れやビールの消費が落ちてきている現状からは想像もできないほどの販売がなされました。ワールドスポンサーであるハイネケン社からの依頼は2点のみ、・冷やしたものを提供する事・商品を品切れさせない事。でした。来年のオリンピックにも福高出身の福岡選手が出場を目指しております。是非引き続きラグビーをお楽しみください。

2点目は現在キリン社が取り組んでいるビールの文化を創る活動としてのタップ・マルシェというクラフトビールのプラットフォームのお話です。『とりあえずビール』という言葉が当たり前ではない現在、个性的で造り手の遊び心も感じられるクラフトの取り組みに注力しています。新しい容器の開発、新しい販売スキームを構築し、現在全国で12000店ほどお取り扱い頂いております。九州でも1000店以上のお取り扱い。現在26アイテムを好きな組み合わせでお楽しみいただけます。ベンチャー企業などでは企業の代表が若手社員との対話をするためのツールとして活用されていたり、新しいスタイルの飲酒文化が生まれつつあります。これからもお客様の笑顔のために九州を、福岡を盛り上げ取り組んでまいります。タップ・マルシェにご興味のある方は是非三宅清三郎までご一報お願いします。

